

暮らしに役立つ情報満載！



住まいるニュース

2023
5
vol.150

今月の特集

明るい家のづくりかた

家づくりで特にこだわりたいのは室内の明るさではないでしょうか。光がたっぷり入る明るい空間は快適であるのと同時に、健康上にも良い影響を及ぼします。そこで今回は、**明るい家のづくりかた**のポイントについてご紹介します。

採光は窓の数や位置、サイズの設計で決まる

明るい家にするためには、窓の数や位置、サイズをどのように設計するかによって採光の量が決まります。また、壁や天井の色や素材にも注意を払い、光を反射させるような仕様にすることで、より明るい空間にすることができます。日当たりが悪い家は、湿気がこもりやすく、カビやダニの発生リスクが高まります。また、暗くて気分が落ち込みやすく、照明をつけなければならないため電気代も高くなってしまいます。ペットの健康にも悪影響を及ぼす可能性があるため、注意が必要です。

採光において重要なポイントは、夏と冬の太陽の位置を把握することです。夏は太陽の位置が高く、冬になると太陽の位置は低くなります。窓の位置や軒先の**大きさ**などが適切でない場合、光を取りすぎてまぶしく感じたり、冬になると十分な光を取り込めなくなったりすることがあります。春・秋の太陽に合わせて窓を設計するのは非効率的なため、採光は夏と冬の太陽の高さに合わせることが重要です。また、間取りにも注意を払う必要があります。例えば、南向きのリビングルームには、日差しがたくさん入るため、明るく開放的な空間に

することができます。ホールや廊下にも窓を設置することで、光を取り入れやすくなります。吹き抜けは天井を高くすることでの解放感が生まれるとともに、室内の空気の流れを促進し、室内にも自然光を多く取り入れることができますので、状況に応じて採用を検討してみましょう。

自由な設計とデザイン性で理想の住まいを実現

室内の採光を重視するあまり、窓を多く設置することでプライバシーの問題が生じることがあります。外部からの視線を遮るために、窓の先に植木や塀で目隠しをするなどの工夫をする、庭に植栽ができるスペースがなければ、窓用の目隠しフィルムシートを貼るなどでプ

「大きさ」とは、建物からの軒先の出具合の事



ライバシーを確保しながら光を取り込みましょう。

明るい家を作るには、窓を増やしたりサイズを大きくしたりするのが一般的な解決策とされていますが、その反面、開口部が多く、大きくなると外気との接触面が増えるため、夏は暑く、冬は寒くなりやすくなる可能性が高まります。また、十分な断熱性と気密性がなければ、この問題は更に深刻化します。

「FPの家」は、家の基本性能で重要とされる、断熱性や気密性、耐久性に優れた高性能の「FPウレタン断熱パネル」を隙間なく施工することで快適な居住空間を実現。自由な設計とデザイン性で、暮らす人に最適な家づくりができる「FPの家」で、理想の住まいを手に入れませんか。

住まいの知恵袋

外壁材の種類



ひとことで外壁といっても、さまざまな種類がありますが、日本で採用されている代表的な外壁は、窯業系サイディング、モルタル外壁、金属サイディング、ALC外壁の4種類。窯業系サイディングはセメント8割、残り2割が繊維質などで構成された外壁材で、コスパが

良くバリエーションが多いのが特徴です。モルタル外壁はセメントに砂を加えて練り合わせたもので、耐火性に優れデザインの自由度が高く、サイディングが普及するまで日本の木造住宅の主流でした。金属サイディングは、表面はスチール板などで施工して裏側に断熱材を入れているため、断熱性に優れているのが特徴です。ALC外壁は軽量気泡コンクリートを材料としており、断熱・耐久性に優れています。

◆お金の豆知識◆

都市計画税

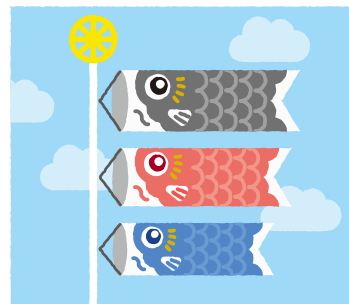
市区町村が都市計画事業や土地区画事業の費用に充てることを目的にした税金で、毎年1月1日時点において市街化区域内に土地や家屋を持っている人を対象に、所有する土地の面積や建物の延床面積に応じて毎年課税されます。徴収方法は固定資産税と同様、納税通知が送られてくる普通徴収形式となります。



※ 我が家の「鯉のぼり」は、これ！

暮らしの1ポイント

鯉のぼり



鯉が滝に登ると竜になるという中国の登竜門伝説が由来とされる「鯉のぼり」。端午の節句に子どもの成長を願い、鯉のぼりを立てるようになったのは江戸時代中期で、鯉が描かれたのぼりから、徐々に吹き抜けに変化していきました。当時の鯉のぼりは和紙で作られていたため雨に弱く、揚げ下ろしも大変だったそうです。

\\できた!! 簡単DIY

壁紙の貼り替えDIY



糊つき壁紙を使えば初心者でもかんたんに壁紙を張り替えることができるので、ぜひDIYにチャレンジしてみてください。壁紙の貼り替えは、古い壁紙をはがして貼るか、上から貼るかの2つの方法があります。壁紙をはがしてから貼るほうがきれいに

仕上がりますが下地処理が必要です。壁紙を必要な長さにカットしたら、裏のフィルムを少しずつはがして、なでバケを使って空気を押し出しながら壁紙を貼っていきます。端まできれいに貼ったら定規を使って余った壁紙をカットし、壁紙の継ぎ目はローラーを使ってなじませましょう。柄の入った壁紙は隣同士の絵柄がずれてしまわないよう、一枚目の壁紙を基準に次に貼る壁紙を仮貼りしてから慎重に作業しましょう。

おしえて!

Dr.住まいる

寝具の入れ替え

暖くなる季節は寝具の衣替えの時期。入れ替えタイミングは室温に応じて少しずつ行い、入れ替え時には適切なお手入れを行いましょう。湿気を含んだ状態でしまうとカビやダニの原因になるため、しっかり干して乾燥させることが大切です。よく晴れた日に陰干しして湿気を飛ばして風を通しておくとふんわり感が保てます。

